

■世界・米国：世界の電力貯蔵設備、2030年に125GWと予測

2017年11月20日付の業界紙によると、近年、世界の電力貯蔵設備容量は急増し、2030年には1億2,500万kW／3億500万kWhに達すると予想され、2016～2030年の15年間の投資額は1,000億ドル超となり、世界規模で導入が進むと見られている。特に、米国と中国、日本、インド、ドイツ、英国、オーストラリア、韓国の8カ国の導入量が多く、全体の約70%を占めると見られている。この急激な伸びは、2000年から2015年にかけて急増した太陽光発電と類似している。2017年11月6日に発表された米エネルギー貯蔵協会（ESA：Energy Storage Association）の報告書によると、米国内では2025年までに3,500万kWの設備が導入されるとしている。